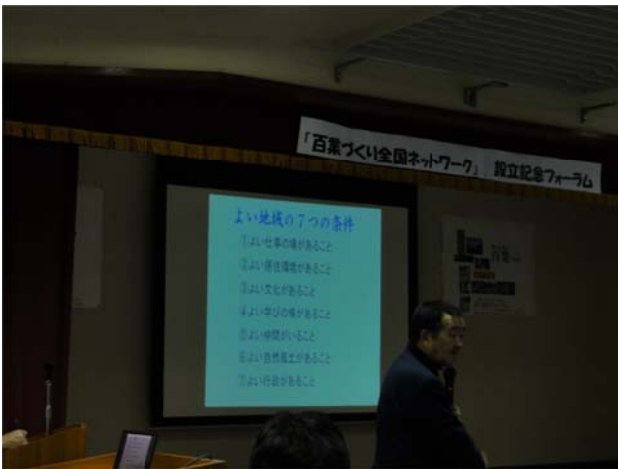


百業づくり全国ネットワーク 設立フォーラム



2月19日、20日の二日間、仁淀川町観光センターで「百業づくり全国ネットワーク」設立フォーラムが行われました。百業とは、目の前にある自然の資源を見直し、活用し、それを100種類の生業（なりわい）にしようというものです。

フォーラムではJST事業「Bスタイル」のプロジェクトリーダーである田内氏（森林総研四国）の開会の挨拶にはじまり、仁淀川町長大石氏からは歓迎のお言葉をいただきました。本ネットワーク相談役でもある民俗研究家の結城登美雄氏による基調講演では、国内の様々な地域の事例を紹介いただき、地域・自然・文化・環境の重要性や百業のあり方についてご講義いただきました。



結城登美雄氏による基調講演

さらに、本ネットワーク設立のきっかけとなった自伐林家を中心とした林地残材供給の取り組みの経過報告が中嶋氏（NPO 法人土佐の森・救援隊）によって行われ、全国に広がりつつある本システムを例にとり、林業分野での百業の可能性について報告されました。また、地元からの声として、開催地である仁淀川町より、によど自然素材等活用研究会から井上氏、ヤトロファ研究家の左京氏、自伐林家の片岡親子から活動報告がありました。全国からの声では、鳥取県智頭町長寺谷氏、NPO

法人夕立山森林塾（岐阜県恵那市）佐藤氏からそれぞれの地域での活動を紹介いただきました。その後、百業ネットワーク設立宣言が会長に就任した澁澤氏（NPO 法人共存の森ネットワーク）によって行われ、本ネットワークはめでたく設立となりました。その後、参加者からの意見交換会も行われ、さらなる情報交換は懇親会でも。こうして、夜遅くまで百業づくりの議論は続きました。



実験的に製造された薪ボイラー（池川木材）

翌20日は、エクスカージョンとして2つのツアーが組まれました。一つは「自家農林業で生きる現場」と題して、いの町吾北の安藤氏の所有林で土佐の森方式の集材実演が行われました。もう一つは「木質バイオマスを地域で回す」と題し、池川木材の薪ボイラーやペレット工場、仁淀川町とNPO 土佐の森が管理するガス化発電施設・ペレット工場を見学しました。

本設立フォーラムは、全国から民学官40を超える団体から100名以上の参加があり、中山間地域で生活するための百業について議論がなされ、多くの情報を共有することができました。なお、次回（2011年度）は鳥取県智頭町で第2回のフォーラムが開催される予定です。